

# 三愛だより

第227号 2023年(令和5年)3月10日発行

発行事務局：三木市細川町増田1204番地

電話：0794-82-3095(北村) <http://mikisizen.g1.xrea.com>

守池2号より1号池を望む



## 報告

## 虫の冬ごし探検隊 2022 (2023/3/4)

2022/12/18の「虫のお宿」復旧作業から2か月半。年度末最後の親子イベントである「虫の冬ごし探検隊」を何とか開催にまでこぎつけることができました。

2/25の駐車場の草刈り作業には、例年より多くの会員が集まり、短時間で作業を終えることができました。また同日に、昨年参加されたKさんと、会員の知人であるNさんから合計173匹のカブトムシ幼虫をご提供いただき、復旧した「虫のお宿」にそっと放すことができました。



温かな春の日差しが降り注ぐ旧キャンプ場で、親子合わせて18名の参加者は、いろいろな虫たちの冬越しの様子を北村理事長が事前に準備した実物を通して学習した。その後、いよいよカブトムシの幼虫を掘り出す活動に移った。次々と見つかる幼虫に参加者から歓声があがった。



幼虫の世話の仕方を会員から聞いた参加者は、家で飼育できる数だけの幼虫を慎重に見極め、持ち帰るようにしていた。

そして、イベントの最後は、来年のための「虫のお宿づくり」に参加者と会員みんなで行った。枯れ枝の落下を避けて、新しいお宿の場所を移動し、どんどん枯葉を積み重ねていった。この作業も、スムーズに進み、新しい2か所のお宿が完成した。



再び、壊されることの無いことを祈って、注意書きを掲示して閉会とした。今回のイベントに際し、大切にされていた幼虫を提供いただきました。本当にありがとうございました。

(文責&写真：植田)

## 2023年2月～3月上旬の事業報告

前号に詳細掲載

2月 2日(木) 活動推進連絡会 19:00～

2月 5日(日) 冬の公園観察会 会員9:00集合 10:00～11:00 会員14名、一般1名、合計15名  
ふるさと公園畦焼き 11:00～13:00、会員14名2月10日(金) 救急処置講習会 市民活動センター別館 14:00～ 会員8名 参加  
野外活動における事故に対応する「救急処置講習会」  
心肺蘇生講習の後、毒蛇への対応、止血方法等

## 報告

午後2時より市民活動センター別館の3階中講座室で三木消防署より職員2名(講師)に依頼して実施する。主に心肺蘇生法について1時間ほど講習を受ける。最初に、心肺蘇生法の重要性の話聞いた後、2人ずつ組になって心肺蘇生の手順を実施。その中でAEDの使用法も体験する。コロナ禍で人工呼吸は省かれていることやAEDの使い方が10年ほど前の救急法と(勘違いも含めて)若干違っていた。いざという時、緊張したり慌てたりしないように常に訓練しておく必要がある。その後、怪我等における止血方法や毒蛇にかまれたときの対応を聞いて、3時20分頃に講習を終える。(文責:横山)



三愛だより発送作業 市民活動センター15:00 8名

2月11日(土) 野鳥調査:ホースランドパーク(講師:工義尚先生)

エオの森研修センター前駐車場集合 9:00～12:00 工義尚先生、会員4名  
シジミオモダカ自生地・移植地等草刈り 高男寺公民館 14:00集合 会員11名

後ページに詳細掲載

## 報告

午後1時30分に志染町高男寺の公民館に集合。11人の参加があり車数台に分乗して、先ず高男寺のシジミオモダカの自生地へ向かう。今回は倒木も無く、草刈りもスムーズに行なえ30分ほどで終了した。引き続き、防災公園のシジミオモダカ移植地へ移動する。窟屋のため池より谷道の草木を刈りながら移植地へと進んでいく。移植地の草刈りを行い、更に奥へと谷道の草刈りをしながらカンアオイ移植場所へ向かう。カンアオイ移植場所に行く手前の部分が、数年前の大雨時に堰き止められたため、ぬかるみ状態になり湿地化していた。移植したカンアオイは枯葉の下に埋没しながらも成長しており花を付けていた。3年ほど前に見つけたミスミソウ(ユキワリソウ)も健在である。株が増えたように思われるが花のつぼみが見当たらない。少し休憩を取り午後5時前に終了した。(文責:横山)



シジミヘラオモダカ自生地



シジミヘラオモダカ移植地



カンアオイ移植地

2月23日(木) 三役会議 19:00

2月25日(土) 旧教育キャンプ場跡現地草刈り 9:00～ 会員13名  
カブトムシ幼虫約150匹投入(小池さん、中井さん提供)  
ふるさと公園に予備50匹

3月 2日(木) 活動推進連絡会 参加9名

前ページに詳細掲載

3月 4日(土) 虫の冬越し探検隊 集合8:30、受付9:30、開始10:00  
参加状況:8組、21名(子供10、幼児1、大人10)

3月 5日(日) おもだかの原稿締め切り 現在9本、最終13本



駐車場所の草刈り

**ふるさと公園だより**  
 ちょっと立ち寄って  
 覗いてみませんか！  
 今、このような生きものが・・

3月から4月にかけて、  
 生きものが深い眠りから目覚め、春  
 を喜ぶように活動し始めます。  
 木々の芽吹き、草花の開花、ため池  
 や溝でのオタマジャクシやメダカ  
 の遊泳・・等々。運が良ければキジ  
 の散歩が見られるかも？



散策コース		
	西のコース	約400m
	東のコース	約200m



さあ～春は目の前に・・・



ホオジロ



コバノミツバツツジ



画の池 シユンラン



ウグイスカグラ



サワオグルマ



セトウチサンショウウオの幼生



ハコベ



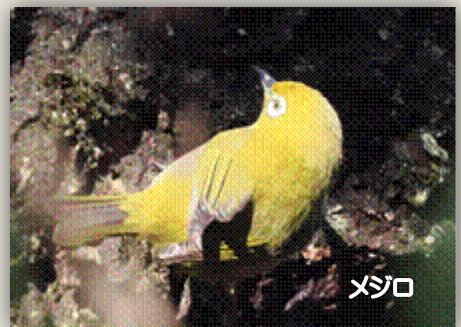
ハグロシハイスミレ

**市史編さん協プロジェクト情報**

**～野鳥観察会報告～**



日時：2023年2月11日(土)8時～11時  
 場所：三木ホースランドパーク エオの森  
 調査者：工 義尚 (兵庫県生物学会 会長)、  
 三愛研 4名 (北村、植田、横山、稲葉)

集合場所である駐車場につくと、さっそくホオジロのさえずりを聞いた。一羽の個体が30分以上はずっとさえずっていた。またメジロやヒヨドリの姿を見た。階段を下りて林道に入っていくと、少し遠くの平地にシロハラがいた。大きくてはっきりした声で鳴いていた。地面を歩き、虫や植物の種を食べるのだそうだ。シジュウカラも地面で食べ物を探していた。コナラ林の中の乗馬コースになっている道を静かに進んでいくが、案外、鳥に出会わない。鳴き声があると立ち止まり、声がした方向に双眼鏡を向けながら進む。とその時、ルリビタキ(雌)が突然現れた。歩道の端にある切り株の上にとまったので、姿をカメラに収めようとしたが、あっという間に飛び去ってしまった。カワラヒワ、キジバト、エナガ、コジュケイ、トビ、コゲラなどを確認した。全体的に小鳥が少ない印象で、じっくりと観察できる時間が少なかった。(文責&写真：稲葉)



メジロ

### 三愛研 2023年3月中旬～4月 事業活動予定表

日	曜	3月 行事 他	日	曜	4月 行事 他	
15	水		7	金		
16	木		8	土	<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;"> <p style="text-align: right; font-weight: bold; color: orange;">お願い</p> <p>昨年と同様に、山野草を天ぷらなどにして春を味わう予定です。 皆さんの周りにある山野草の食材を持参してください。</p>  </div>	
17	金		9	日		
18	土		10	月		
19	日		11	火		
20	月		12	水		
21	火		13	木		
22	水		14	金		
23	木		15	土		ふるさと公園公開観察会&山菜 10:00~ 理事会&活動推進連絡会 15:00~
24	金		16	日		
25	土		17	月		
26	日		18	火		
27	月		R5 年間事業パンフ仕分け作業 13:30~	19	水	
28	火		20	木	三愛だより発送作業	
29	水		21	金		
30	木	(三役会議)	22	土		
31	金		23	日		
4月			24	月		
1	土		25	火		
2	日		26	水		
3	月		27	木	(三役会議)	
4	火	別所地区観察会 興治公民館 9:00 集合	28	金		
5	水		29	土		
6	木		30	日		

【備考】令和5年度通常総会&講演会：5月28日(日) 講師：永幡嘉之氏(会員)

#### お知らせ

三愛研制作の2種類のカレンダーの残部を下記価格にて3月より値下げ販売します。

ご購入の方は、市民活動センターで購入するか、当会三役(北村、横山、植田)までお問合せください。

卓上カレンダー： 500円 → 300円  
ふるさと野のこよみ： 200円 → 100円

#### お知らせ

米村会員により、Instagram(Instagram)に三愛研のページが作られました。アプリをダウンロードしてアカウントを作って登録してください。画面ができたら検索窓に三愛研と入力すると右の画面が出てきます。

三愛研の画面を直接出すには、右のQRコードを利用してください。

